

平成 30 年度 鍼灸学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

若山育郎、錦織綾彦、榎田高士、小河健一、川本正純、吉備 登、坂口俊二、木村研一、戸村多郎、山崎寿也、北川洋志

B. 研究活動の概要

以下の各テーマに沿って、個人およびグループ研究（学外との共同研究含む）を行った。

<若山育郎>

1. 鍼灸の診療ガイドラインに関する研究
わが国の診療ガイドラインにおける鍼灸の記載について、最新の情報を収集しアップデートを行った。

<榎田高士>

1. 「慢性疼痛と鍼灸治療」の課題で、鍼灸が如何に取り組むのか。また、集学的治療となっている慢性疼痛に対して、他職種との連携をどうすべきかに対して近畿大学病院麻酔科疼痛制御センターと共同研究を行ってきた。
2. 認知症予防学会・日本臨床検査技師学会で、認知症の診断および予防について学び、鍼灸治療の有用性について認知症外来および入院施設で検討を始めた。今後も継続予定である。
3. 医用工学領域で小型心電計の試作を試みてきたが、高倍率差動増幅器の開発で、より小型の心電計が作成できそうである。ノイズの除去の問題は残るが、今後、HRV にも応用が期待される。

<小河健一>

1. 地域健康診断において、表皮内神経終末感覚閾値（PINT）が上昇する臨床因子を検討した。
2. DPNCheck® を使用するにあたり、日本人の正常値の設定を試みた。

<吉備 登>

1. 良導絡自律神経調整療法の臨床研究について

<坂口俊二>

1. 体温と生活習慣からみた若年女性の冷え症の特徴
大学院生（馬）の研究テーマで、若年女性を対象に、

3つの診断基準で冷え症と非冷え症に分類し、生活習慣調査や体温測定（脳温、腋窩温、下腹部深部温、手部表面温）の結果から、冷え症の特徴を浮き彫りにした。成果は全日本鍼灸学会第38回近畿支部学術集会で発表した。現在、関西医療大学紀要に投稿予定である。

2. 冷え症を有する若年女性に対する間接灸治療の効果
ユニット共同研究テーマの一つで、冷え症を有する若年女性を対象に、足三里と八風を共通穴として間接灸を行い、その効果をVASと手指・足趾の加速度脈波のパラメータから検討した。成果は2019年度の各種学会に発表予定である。
3. 実習での鍼刺し事故等に対するリスクマネジメントの再編について
はり灸・スポーツトレーナー学科として、実習での鍼刺し事故等に対するリスクマネジメントの再編を行った。再編の契機からその方法、運用などについて、第68回全日本鍼灸学会で発表予定である。
4. 肩甲板点への鍼刺激が股関節外旋可動域に与える影響
大学院生（寺岡）の研究テーマで、研究計画が決まり、倫理審査委員会を経て、2019年度からデータ収集の予定である。

<木村研一>

1. 本態性高血圧症に対する鍼治療が血圧に及ぼす影響について
本態性高血圧症に対する鍼治療が血圧や心拍変動解析に及ぼす影響について正常血圧者との比較検討を行った。成果は第68回全日本鍼灸学会にて発表予定である。
2. 医学生の鍼灸に関するアンケート調査
医学生の鍼灸に対するイメージと講義によるイメージの変化についてアンケート調査を行った。成果は第69回日本東洋医学会総会にて発表した。
3. 箱灸が筋酸素動態や皮膚血流に及ぼす影響について
箱灸が筋酸素動態や皮膚血流に及ぼす影響について研究を行い、成果は研究員（安藤）が第67回全日本鍼灸学会にて発表した。
4. 合谷穴への鍼刺激による顔面部と指尖部の皮膚血流反応について
鍼刺激による皮膚血流反応の部位差と血圧依存性反応の関与について研究を行い、成果は学部学生（杉

原) が第 67 回全日本鍼灸学会にて発表した。

<戸村多郎>

1. 開発した東洋医学的診断尺度「五臓スコア[®] (未病スコア[®])」で、地域在住中高年者の鍼受療による未病予防効果を引き続き検討している。30 年度は、わかやまヘルスプロモーション研究の一環として他大学・病院と連携し、地域住民への未病スコアおよび鍼灸受療頻度の調査を継続実施した。また、研究の社会還元として、健康寿命延伸の契機に東洋医学の知識を広めることを目的とした講演を行った(日本温泉気候物理医学会シンポジスト、大阪府鍼灸師会学術講習会講師)。
2. 医療系大学生を対象にした「学習意欲関連尺度」の開発について、全日本鍼灸学会学術大会で発表した。また、学科を跨いだ学部学生の研究指導を行い、日本国内外における学習意欲研究の状況を学修成果発表会で発表した。
3. 前年度開発した東洋医学的見地による体操を「経絡のびのび体操」として学部学生と刷新し、学修成果発表会での発表、さらに附属接骨院指導の下、継続的な体操にした。
4. わかやまヘルスプロモーション研究として他大学・病院と連携し、未成年者の塩分摂取評価尺度を開発し、その有効性を検討している。30 年度は、中学生の食塩摂取量、スポット尿との関連を近畿学校保健学会、日本高血圧学会総会で発表した。

<山崎寿也>

1. 摂食・糖代謝調節機構の解明
視床下部と膵β細胞を中心に細胞レベル(細胞内Ca濃度測定等)から個体レベル(ノックアウトマウスやウイルスベクターの投与等)で摂食・糖代謝調節機構の解明を行っている。
2. 鍼灸安全性の検討
全日本鍼灸学会安全性委員会の委員として、鍼灸治療における安全性の検討を継続して行っている。

<北川洋志>

1. 超音波診断装置を用いた運動器感作構造について
健常者の大腿四頭筋に対してエコーガイド下で鍼刺激を行い、ひびき感覚を指標に感作構造の検討を行った。成果は第 68 回全日本鍼灸学会にて発表予定である。
2. 経穴部と非経穴部の感作構造の違いについて

経穴部と非経穴部に対してエコーガイド下で鍼刺激を行い、ひびき感覚誘発構造の違いについての比較検討を行った。現在も継続中である。

C. 研究業績

1. 著書

戸村多郎(執筆協力者)、丹澤章八 他.『臨床推論—臨床脳を創ろう』(錦房)

北川洋志. めまい・メニエール病を自力で治す最強事典. 2018. マキノ出版. 東京. (分担執筆)

2. 原著・その他の論文

山下仁, 高梨知揚, 鶴岡浩樹, 若山育郎. EBM・NBMと鍼灸. 2018; 68 (3) : 168-180.

若山育郎, 山下仁, 深澤洋滋, 大川祐世. 座談会 鍼灸と診療ガイドライン. 季刊あとはとき. 第2号, 2019.

石崎直人, 鶴浩幸, 齊藤宗則, 深澤洋滋, 増山祥子, 川崎寛二, 若山育郎. WFAS パリ 2018 大会報告. 全日鍼灸会誌. 2019; 69 (1) : 72-85.

Yoshihiro Takasugi, Koichi Futagawa, Takashi Umeda, Kouhei Kazuhara, Satoshi Morishita. Thermophysical Properties of Thermosoftening Nasotracheal Tubes. Anesthesia Progress. 65:100-105. 2018

Kazuhiro Hirayasu, Hideyuki Sasaki, Shohei Kishimoto, Seigo Kurisu, Koji Noda, Kenichi Ogawa, Hiroto Tanaka, Yumiko Sakakibara, Shohei Matsuno, Hiroto Furuta, Mikio Arita, Keigo Naka, Kishio Nanjo: Difference in normal limit values of nerve conduction parameters between Westerners and Japanese people might need to be considered when diagnosing diabetic polyneuropathy using a Point-of-Care Sural Nerve Conduction Device (NC-stat[®]/DPNCheckTM). J Diabetes Investig 9 (5) : 1173-1181, 2018

石丸圭莊, 皆川陽一, 浅井福太郎, 斎藤真吾, 榎田高士, 伊藤和憲. 慢性痛に対する鍼灸治療の現状(第2報). 慢性疼痛. 37 (1). 29-38. 2018

小河健一, 栗栖清悟, 岸本祥平, 野田幸治, 佐々木秀行, 田中寛人, 上谷光一, 山根木美香, 古田浩人, 西理宏, 赤

水尚史, 南條輝志男. 表皮内神経終末感覚閾値 (PINT) 上昇に関する臨床因子－地域健康診断での検討－. 日本体質医学会雑誌. 80 (2). 172-173. 2018

久保田朋子, 森英俊, 森澤建行, 羽生一予, 久下浩史, 坂口俊二. はり基礎実習における低周波鍼通電療法教育および評価方法に関する調査. 全日本鍼灸学会雑誌. 68 (2). 120-132. 2018

中村真理, 高橋涼子, 坂口俊二. 女性の不眠症に対する鍼灸治療の効果. 女性心身医学. 23 (2). 89-95. 2018
恒松美香子, 新原寿志, 菅原正秋, 古瀬暢達, 上原明仁, 菊池勇哉, 田口太郎, 山崎寿也. 鍼灸師養成学校における B 型肝炎対策に関する調査. 全日本鍼灸学会雑誌. 68 (3). 181-191. 2018

3. 学会発表

若山育郎. 将来の日本鍼灸をどうするか－教育、研究、臨床－. 日本東洋医学会北陸支部夏期講演会. 2018.7. 金沢

榎田高士, 中吉隆之, 池藤仁美, 若山育郎, 吉田宗平. 南米対象の JICA 日系研修「鍼灸学」ガイドブックの作成. 第 67 回全日本鍼灸学会学術大会. 2018.6. 大阪

岸本祥平, 栗栖清悟, 平康雄大, 佐々木秀行, 田中寛人, 上谷光作, 小河健一, 松野正平, 古田浩人, 西理宏, 赤水尚史, 若崎久生, 中啓吾, 南條輝志男. DPNCeck® により糖尿神経障害を診断する際には日本人の正常下限値を用いた方が妥当性が向上する. 第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2018.5. 東京

栗栖清悟, 岸本祥平, 小河健一, 上谷光作, 佐々木秀行. 遠位優位な下肢振動覚低下は加齢により増加するが非高齢の健常者においてもみられる. 第 60 回日本老年医学学会学術集会. 2018.6. 京都

平康雄大, 榎原友美子, 大石博晃, 岸本祥平, 栗栖清悟, 小河健一, 佐々木秀行, 廣西昌也, 赤水尚史. DPNCeck® で測定した腓腹神経伝導パラメータの日本人の基準値の設定-糖尿神経障害における有用性-. 第 29 回日本末梢神経学会学術集会. 2018.9. 下関市

Hirayasu K, Sasaki H, Kishimoto S, Kurisu S, Matuno S, Furuta H, Ogawa K, Hironisi M, Naka K, Nanjo K.

Difference in normal limit values of nerve conduction parameters between Westerners and Japanese people might need to be considered when diagnosing diabetic polyneuropathy using a Point-of-Care Sural Nerve Conduction Device (NC-stat®/DPNCheckTM). 12th IDF-WPR CONGRESS & 10th AASD Scientific Meeting November, 2018 Kuala Lumpur, Malaysia

吉備登. 顔面神経麻痺に対する良導絡治療. 第 70 回日本良導絡自律神経学会学術大会. 2018.10. 岡山

坂口俊二, 三浦大貴, 百合邦子, 池藤仁美, 鍋田理恵, 山崎寿也, 中吉隆之, 若山育郎. 若年女性の冷え症に対する円皮鍼治療が奏功した 3 症例. 新たな鍼臨床研究の手法を探索する. 第 67 回全日本鍼灸学会学術大会. 2018.5. 大阪

井本蓉子, 久下浩史, 坂口俊二, 武田卓. 妊娠中の陰部静脈瘤による会陰症状に対する鍼灸治療の 1 症例. 第 67 回全日本鍼灸学会学術大会. 2018.5. 大阪

辻久美子, 宮井信行, 坂口俊二, 戸村多郎, 横井賀津志, 内海みよ子, 有田幹雄, 宮下和久. 中高年者における冷え症とその併存症状の実態. 第 89 回日本衛生学会学術総会. 2019.2. 名古屋

安藤秀人, 三浦大貴, 五十嵐純, 加藤瑞穂, 大石康平, 木村研一, 若山育郎. 箱灸による筋酸素動態および皮膚血流に及ぼす影響. 第 67 回全日本鍼灸学会学術大会. 2018.5. 大阪

杉原千遥, 加藤瑞穂, 大石康平, 三浦大貴, 木村研一, 若山育郎. 合谷穴への鍼刺激による顔面部と指先部の皮膚血流反応について. 第 67 回全日本鍼灸学会学術大会. 2018.5. 大阪

木村研一, 別所寛人. 医学生の鍼灸に関するアンケート調査. 第 69 回日本東洋医学会学術総会. 2018.6. 大阪

Kimura K, Ishida K, Takahashi N, Toge Y, Tajima F. Effects of acupuncture at the ST36 point on muscle sympathetic nerve activity and blood pressure in normal adults. International Symposium of Sports Medical Science for Persons with Impairments in Wakayama 2018. September, 2018, Wakayama

木村研一．鍼灸治療が末梢循環に及ぼす影響，シンポジウム「鍼灸と自律神経—最近の進歩、伝統医療の科学化に向けて—」．第 71 回日本自律神経学会総会．2018.11. 埼玉

續宏明，渡邊隆行，若山育郎，戸村多郎．不妊鍼灸受療患者の東洋医学的診断（五臓スコア）に特徴はあるのか．第 66 回全日本鍼灸学会学術大会．2017.6. 東京

戸村多郎，坂口俊二，宮井信行．中高年地域住民の生活習慣と東洋医学的診断との関係について 五臓スコア（未病スコア）による評価．第 66 回全日本鍼灸学会学術大会．2017.6. 東京

戸村多郎：未病スコアの体調管理への応用と実践，第 83 回日本温泉気候物理医学会学術集会シンポジウム「ヘルスツーリズムを科学的に捉えるには？」．2018.5. 鹿児島
戸村多郎，坂口俊二，若山育郎．医療系大学生を対象にした「学習意欲関連尺度」の開発，第 67 回全日本鍼灸学会学術大会．2018.6. 大阪

有馬美保，宮井信行，寒川友起子，阿部香織，戸村多郎，内海みよこ，宮下和久，武田眞太郎，有田幹雄．塩分チェックシートによる中学生の食塩摂取量の簡易評価の有効性．第 65 回近畿学校保健学会．2018.6. 京都

早川博子，宮井信行，寒川友起子，有馬美保，阿部香織，戸村多郎，内海みよ子，宮下和久，有田幹雄．中学生におけるスポット尿による Na/K 比と血圧との関連．わかやまヘルスプロモーション研究．第 41 回日本高血圧学会総会．2018.9. 北海道

山崎寿也，上原明仁，古瀬暢達，新原寿志，菊池勇哉，菅原正秋，田口太郎，恒松美香子．鍼施術による神経傷害安全教育（3. 神経臓器損傷を防止するための教育用デバイスの検討）．第 67 回全日本鍼灸学会学術大会．2018.6. 大阪

新原寿志，菅原正秋，古瀬暢達，上原明仁，菊池勇哉，田口太郎，恒松美香子，山崎寿也．開業鍼灸院を対象とした鍼灸の安全性に関するアンケート調査．第 67 回全日本鍼灸学会学術大会．2018.6. 大阪

中吉隆之，榎田高士，山崎寿也，坂口俊二，若山育郎，錦織綾彦，吉田宗平，武田大輔．JICA 日系研修の終了研修

員による帰国後活動報告会について．第 67 回全日本鍼灸学会学術大会．2018.6. 大阪

張博洋，山崎寿也，レティフォエ，向阪彰，中田正範．インスリンによる室傍核オキシトシン神経活性化．第 111 回近畿生理談話会．2018.11. 和歌山

4. 研究費獲得状況

木村研一（研究代表者）．本態性高血圧症に対する鍼治療の血圧に及ぼす効果と作用機序に関する研究、文科省科学研究費補助金（基盤研究 C、平成 29 年～31 年度、課題番号 17K09338）．

5. その他

榎田高士．鍼灸の有害事象とその防止．第 15 回大阪漢方鍼灸医学セミナー．2018.11. 大阪．

榎田高士．鍼灸医療におけるリスクマネジメント [有害事象とその防止]．関西運動器障害研究会．2018.11. 大阪．

小河健一．和歌山地域糖尿病療養指導士（WLCDE）講習会．急性合併症担当．2018.10. 和歌山．

吉備登．初心者講習会．第 17 回日本良導絡自律神経学会近畿ブロック講習会第 2 講座．2018. 5. 大阪．

吉備登．初心者講習会．第 17 回日本良導絡自律神経学会近畿ブロック講習会第 3 講座．2018. 7. 大阪．

吉備登．初心者講習会．第 17 回日本良導絡自律神経学会近畿ブロック講習会第 4 講座．2018. 9. 大阪．

吉備登．初心者講習会．第 17 回日本良導絡自律神経学会近畿ブロック講習会第 5 講座．2018. 11. 大阪．

吉備登．初心者講習会．第 17 回日本良導絡自律神経学会近畿ブロック講習会第 6 講座．2019. 1. 大阪．

吉備登．初心者講習会．第 17 回日本良導絡自律神経学会近畿ブロック講習会第 7 講座．2019. 3. 大阪．

坂口俊二,「冷え症（総論）」,第47回現代医療鍼灸臨床研究会シンポジウム,2018.4.東京.

坂口俊二,「カルテの書き方」,平成30年度鍼灸師卒後臨床研修医療人研修講座(関西会場),2018.8.大阪.

坂口俊二,「冷え症をどのように捉え、鍼灸臨床につなげるか」,(公社)全日本鍼灸学会中国四国支部認定AB講座,2018.11.香川.

坂口俊二,「こだわりの治療スペシャル～冷え性～」,(公社)全日本鍼灸学会近畿支部認定B講座,2019.2.奈良.

坂口俊二,「冷え症がもたらす肩こり及び頭痛への鍼灸治療」,SEIRIN セミナー,2019.2.大阪.

坂口俊二,「新穴・奇穴の臨床応用」,平成30年度全和歌山県鍼灸マッサージ師会学術研修会,2019.2.和歌山.

戸村多郎,「東洋医学の智慧で社会を変える:未病スコアで東洋医学カウンセラーになる」,大阪府鍼灸師会平成30年度第2回学術講習会,2018.大阪.

北川洋志,トリガーポイント鍼療法セミナー第1回「TP理論と肩関節の体表解剖」,大阪府東洋療法協同組合主催セミナー,2018.大阪.

北川洋志,トリガーポイントの理論と実技「下肢編」,関西運動器障害研究会,2018.7.大阪.

北川洋志,トリガーポイント鍼療法セミナー第2回「肩関節罹患構造へのTPマッサージ」,大阪府東洋療法協同組合主催セミナー,2018.7.大阪.

北川洋志,トリガーポイント鍼療法セミナー第3回「肩関節罹患構造へのTP鍼療法」,大阪府東洋療法協同組合主催セミナー,2018.8.大阪.

北川洋志,3D解剖から見るマニュアルセラピーー下半身編ー,(株)REACH ワークショップ,2018.9.大阪.

北川洋志,トリガーポイント鍼療法セミナー第4回「見逃しやすい罹患構造へのTP療法」,大阪府東洋療法協同組合主催セミナー,2018.10.大阪.

北川洋志,3D解剖から見るマニュアルセラピーー上半身編ー,(株)REACH ワークショップ,2018.11.大阪.

北川洋志,トリガーポイント鍼療法セミナー第5回「関連する諸症状へのTP療法」,大阪府東洋療法協同組合主催セミナー,2018.12.大阪.

北川洋志,トリガーポイントI,兵庫県保険鍼灸師会学術研修会,2019.3.兵庫.